

3 東京大都市圏の過密問題とその対策

○東京大都市圏の拡大

東京とその周辺：高度経済成長期に日本各地から移住が進む

「東京へ人口が集中

」住宅地が不足し、地価が上昇

→住宅地が鉄道路線沿いに開発され、神奈川・埼玉・千葉・茨城まで広がる

→()として拡大し、人口が()な地域となる

○東京大都市圏の過密問題とその対策

東京大都市圏：通勤時間帯の混雑やゴミの増加など、()が発生

「対策」時差通勤の推奨や環状道路の整備

大学や研究機関を計画的に移転 (例) 筑波研究学園都市の建設など

臨海部の埋立地や鉄道施設跡地などの()

多摩^{たまた}や海浜^{かいひん}で()の建設→居住者の高齢化や少子化、建物の老朽化などが課題

○全国第2位の大都市、横浜

横浜市(神奈川県)：東京大都市圏の都市で、()でもある

→江戸末期に開港し、国際色豊かな都市として発展

「洋館やレンガ造りの建物など、歴史的景観が残る

再開発により、商業施設や国際会議場などが集まる

」1970年代に港北ニュータウンの開発が進み、住宅地で人口が増加

※()とは、人口が50万人以上で、政令によって都道府県並みの特別な権限をもっている

大都市のこと